

目次

- | | | |
|-------|--|-------|
| 1 | 室町期冷泉家古今学に関する一資料——三康文化研究所附属三康図書館蔵
『為和秘抄』所収の古今注をめぐって—— | 館野文昭 |
| 22 | 揺曳する景と心——恋情の表出と神の顯現と—— | 佐藤陽 |
| 43 | 川端康成「青い海黒い海」論——「幻想と象徴」について—— | 青木言葉 |
| 65 | 『三国志演義』の怒りの諸相 | 吉永壯介 |
| 85 | 『世説新語』の劉孝標注にみえる子部の引用書と通行本との比較研究 | 福田文彬 |
| <hr/> | | |
| 120 | 『老子』のテキストの変遷に関する一考察——「吾」と「我」を中心に—— | 仙石航太郎 |
| 138 | ラブレーとラファルグ——19世紀におけるラブレー受容の1例—— | 荻野安奈 |
| 161 | ミシェル・ヴィユシャンジュを読むジュネ——
『スマラ』から「イビスへの手紙」へ(1) | 岑村傑 |
| 180 | ポール・クローデル『1914年降誕祭の夜』——鎮魂の劇として—— | 西野絢子 |
| 199 | 不可能性の演技——劇団三条会の「不気味な」名人芸 | 寺尾恵仁 |
| 220 | ローベルト・ムージル『愛の完成』における理性と感性——
現実の有意味性へ向けた努力としての「合一」 | 吉野泰斗 |
| 238 | 自然の言語——ゲーテの世界観とグレゴリー・ベイトソンの学問理論 | 糸川麻里生 |
| 256 | 革命と統一：ジュンパ・ラヒリの『低地』における抵抗の手段
としての大学教育 | 志賀俊介 |
| 276 | 孤立する騎士の系譜：ボッカッチョの『フィローコロ』と
チョーサーの『トロイルスとクリセイダ』 | 趙泰昊 |
| 292 | 法的安定性及び柔軟性とカテゴリー化 | 和氣直子 |